

## 富山市有峰周辺におけるハクバサンショウウオの分布調査報告

有峰森林文化村 霜鳥智也  
有峰森林文化村 石黒秀雄

ハクバサンショウウオ(有尾目サンショウウオ科Hybobius hidamontanus)は、1975年長野県白馬村で発見され、1987年に新種として発表された日本固有種で有尾類である(Matsui,1987)。本種の繁殖期は、4月中旬～5月上旬とされ、細流の淀んだ場所や湧水のある湿地等の止水域で産卵することが知られています。一方、有峰は豪雪地帯であり、雪解けが遅れることから6月前後が繁殖期と考えられています。

本種は富山県のレッドブック2012では、絶滅の危険に瀕している種として「絶滅危惧 I B類」に指定され、さらに2015年5月29日には、富山県内の希少野生動植物のうち、特に保護を図ることが必要な「指定希少野生動植物」に指定されています。本種の富山県における分布域は、これまで、立山町、上市町、旧大山町、旧利賀村、富山市有峰や魚津市で確認されています。

有峰森林文化村で2004年より主催行事として開催している「ありみね高校生学びの森」において、平成25年(2013年)に有峰でのサンショウウオの生息調査が行われ、クロサンショウウオ・ヒダサンショウウオ・ハコネサンショウウオ・ハクバサンショウウオの4種が確認され、ハクバサンショウウオは猪根平、大多和峠や折立付近等で、卵塊、幼生、成体が発見・確認されています。

2021年9月5日から9月11日、過去に有峰森林文化村で本種を確認したエリアでの分布報告を元に猪根平、東岸線、大多和峠及び折立付近などにおいてハクバサンショウウオの生息調査を実施しました。

調査結果を下表に示しました。どの場所も、山側などからの湧水を水源とする細流の淀んだ場所で発見、確認することができました。いずれの場所も短時間の搜索で生息を確認することができました。確認したステージは、全て幼生で、体長は30～40mmでした。

有峰は、標高1000m余りの高原盆地で、有峰周辺には、ハクバサンショウウオが生息可能な環境が各地に存在し多くの箇所が生息しているものと推定されます。

今後も、有峰におけるハクバサンショウウオの生態調査や分布調査を継続していこうと考えています。なお、本調査にあたり指定希少野生動植物等許可の手続きを踏まえ実施しております。

調査月日	猪根平	猪根平周辺A	猪根平周辺B	西岸線周辺	東岸線付近	大多和峠付近	折立付近
9月5日					○(幼生)		
9月6日						○(幼生)	○(幼生)
9月11日	○(幼生)	○(幼生)	○(幼生)				
9月14日	○(幼生)			○(幼生)			
10月2日							○(幼生)

※本種の保護の観点から具体的な生息場所の詳細を控えます。

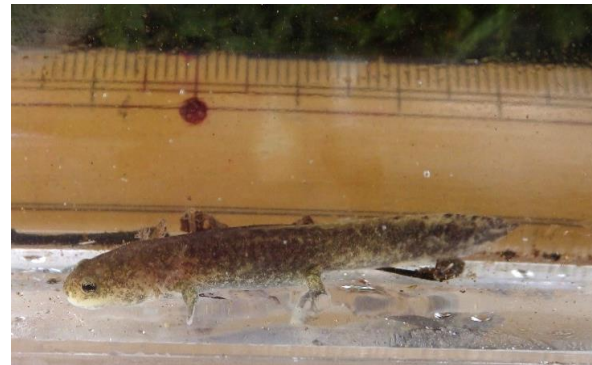
## 参考文献

- ①2013 ありみね高校生学びの森実施報告書 公益社団法人富山県農林水産公社 2013
- ②富山県におけるハクバサンショウウオの新産地、草間 啓 他 魚津水族博物館年報第27号2018
- ③立山カルデラの両生類② 澤田研太 博物館だよりNo.62 富山県立山カルデラ砂防博物館 2015
- ④富山県における両生類・爬虫類の記録 森大輔、草間啓 富山の生物 2019
- ⑤決定版日本の両生爬虫類 写真・解説 内山りゅう ほか 平凡社
- ⑥原色爬虫類両生類検索図鑑 高田榮一 大谷勉 北隆館
- ⑦野外観察のための日本産両生類図鑑 第3版 関慎太郎著 松井正文監修 緑書房

有峰森林文化村



撮影:2021年9月11日 有峰 猪根平



撮影:2021年9月11日 有峰 猪根平周辺A



撮影:2021年9月14日 有峰 西岸線周辺



撮影:2021年9月6日 / 10月2日 折立付近 湧水箇所

10月2日修正・加筆